

# 病児保育 コロナで利用激減

新型コロナウイルスの影響で、風邪や感染症などで保育園や小学校を休んだ子どもの一時預かりをする「病児保育」の利用者が激減している。神戸市内の病児保育室の利用者数は例年の2、3割程度。在宅勤務や、子どもが発熱した場合に保護者に休みを促す職場が増えたことが背景とみられる。病児保育室の運営に関わる状況で、同市は「コロナ対策はきちんとしている」として必要な場合の利用を呼び掛ける。

(員原加奈)

## 在宅勤務増え、子どもの発熱時は出社見合わせ

神戸市東灘区内で三つの病児保育室を運営する医療法人社団「やまゆり会」。例年1日20〜30人の利用があったが、今は1日1、2人という日が続く。「在宅勤務の増加もあるが、コロナで収入が減り1日利用2500円の負担感が大きいのでは」と辻野吉昭理事長(58)は分析する。

その一つ、病児保育室「Kupu Kupu(クプクプ)」は生後6カ月から小学6年生までが対象。市内在住か、市内に子どもの通う保育園や小学校、保護者の職場があれば利用できる。

1月末、乳幼児5人が入室していた。保育士によると「今日は多

い方」だという。病気によって居室を分ける。保育士と看護師が常駐し、医師も見回る。高熱で寝付けない子どもにも頓服薬を飲ませるため、保育士2人が付き添い、「上手に飲めたね」と拍手した。

クプクプでは当日の飛び込み利用も可能な限り対応する。利用者が数か月前にならないと分からず、キャンセルも多いため、保育士や看護師の配置は難しい。それでも「保護者のストレスを減らしたい」と、急な発熱で子どもを保育園などに迎えに行くサービスを独自に始めた。

保育園に1歳と4歳を預ける会社員女性(38)「神戸市東灘区」

### 病児保育を利用するには？

(神戸市の場合)

① 事前登録 利用予定の病児保育室に「利用登録票」を提出する

② 利用前日(場合により利用当日) 【診察】かかりつけ医か病児保育室の医師に「医師連絡票」を作ってもらおう

【予約】利用する病児保育室に電話で予約

利用申請書と医師連絡票を病児保育室に提出

③ 利用当日 利用料(1日1人2千円と昼食・おやつ代)を支払う ※非課税世帯などは減額の場合も処方薬や着替えなどを持たせて預ける



子どもの病気ごとに部屋を分けて保護者の帰りを待つ＝神戸市東灘区甲南町3

## 神戸の医療法人 感染対策講じ、PCR検査も対応

は、アデノウイルス感染症やへんとう炎などでクプクプを度々利用。保育園から子どもが発熱したとの連絡を受け、昼休みに病児保育室へ預けに行ったこともあるという。「職場に迷惑をかけたくなかったので、お迎えサービスは本当に助かる」と話す。

しかし、新型コロナウイルスの影響で病児保育が利用しづらい状況が生まれている。子どもの発熱に対し、職場では「もしコロナやったら責任を取れるのか」「できれば出社しない方がいい」といった声があるという。

クプクプでは必要に応じて新型コロナウイルスの抗体検査やPCR検査に対応。細心の注意を払って、病児保育を運営する。女性は「費用は安くはないけど、働かないわけにはいかない」と利用を続けるつもりだ。

同市幼保事業課によると、病児保育利用者数は例年の2、3割程度に減っており、市内20の病児保育室の中にはコロナ禍で運営を見合わせている施設もあるという。同課は「元々利益の大きい事業ではないので、いも経営は厳しい。各施設ともコロナ対策をきちんとしているので安心して利用してほしい」としている。